

な～に谷っ戸ん田 5 年目 9 回 田植え・サツマイモの植付け・ハウスの雑草取り等

と き 平成 23 年 6 月 4 日(土) 9:30～17:00

ところ 谷っ戸ん田、畑、テツさんのビニールハウス

天 気 晴

参加者 石田(午後)、磯、オズ、梅下(母、日菜子、浩太郎、裕次郎)、霧生、久保、坂本、柴田
(午前)、佐々木(母、優:午前)、藤田(午前)、福井(午前)、福富(午前)、松本夫妻、吉田
(午後) 計 19 名(子供 4 名含む)

作業内容

【午前】 広場で打ち合せ後、2 手に分かれることになった。

* 田んぼの作業

- ・田んぼ周辺の草刈り
- ・田んぼの水抜き

* 畑の作業

- 当日の準備 -

- ・サツマイモ(ベニアズマ) 苗 130 本: ミヨシにて予約購入。
前日に高田さんが水を入れたバケツに入れた状態で広場のロッカーに搬入。
- ・鶏糞(フジミの発酵ケイフン) 15kg x 4 袋。: 当日、JA で購入。
- ・ワラ: グリーンから分けていただく。グリーントラックで他の器具と一緒に運搬。
- ・トラクター: 畑側の大場さんのものを借用。
- ・クワ 2 本、支柱数本: グリーンから借用。 ・カマ 数本: テツさんから借用。

- 作業 -

- ・サツマイモ苗の植え付け: カマを定規のようにマルチにあてて、刃先で等間隔に印をつけていき、後からその印に支柱を挿し、苗植え用の穴をあけていった。
株間は 40cm。定規と穴開け器を忘れたので、カマの柄でおおよそ 40cm として計測。
苗がマルチにあたって傷まないよう今回は「垂直植え」。2 節程度まで土をかぶせていった。
- ・里芋・エビ芋の追肥: 苗を植えたマルチの歩きに沿って肥料を播き(約 1 袋半)、クワでさくり、土に混ぜ込んでいった。まだ小さかったので株間の間に肥料を入れる方法もあった(参考まで)
- ・スイカの追肥とワラ敷き: 苗の近くのマルチ周辺に約半袋の肥料を播き、クワで土に混ぜ込んでいった。その後、マルチ両側約 1m ワラを敷いた。
- ・除草: 苗周辺と大豆畑用のエリアの草を取り、大豆エリアはトラクターで耕運して雑草を梳(す)き込んだ。

里芋は 10 本中 9 本程度は発芽していたが、えび芋の発芽がいまひとつで心配。

【昼休み】

各自、弁当等を食べて休んだ。

今後の作業段取りを確認する「連絡会」をし、以下の話しをした。

- ・田んぼ班: ここ 2 ヶ月の予定は決まっており、すでに HP に掲載済。
- ・竹林班: 作業の空いた時間に、少しずつ進めればよい。
- ・畑班: 6/25 か 7/2 に大豆の種まき。(決定後、連絡)
夏まではまめに畑の様子をみながら、草取りの段取りを決めていく必要がある。
- ・その他: 暑気払いを 7/30 に開催。(テツさんの小屋) 松本さんが幹事。

【午後】

* もち米の田植え

- 当日の準備 -

田んぼ定規 x 2: グリーンより借用

支柱とひも(ロープ) 田んぼ定規をまっすぐ引くための目安を作るため。

もち米の苗: 喜寿(テツさんから分けていただいたもの) + 満月(4月に手まきしたもの)

- 作業 -

- ・もち米エリアに田んぼ定規ですじひき。
- ・「満月」の苗は発芽も成長も悪く（かびのせいか？）、テツさんから分けていただいた「喜寿」を中心に手植えで使用。左端に数列だけ使えそうな「満月」の苗を手植え。
- ・2種の境目が分かるように、支柱を立てて糸をひいておいた。
水が未だ抜け切れておらず、すじひきの線が分かり難くて苦戦。
田植え初体験の子ども達は、泥んこになりながらも楽しそうだった。

* ハウスの草取り

- ・田んぼ側のアスパラガスのビニールハウス内の草取り。
すぎなを手でとっていった。

* 苗箱洗い

- ・当日使用した苗箱を、テツさんの作業小屋の前で洗淨。

(記録：霧生)